

はなわ 議会だより

2020
No.149

発行/福島県塙町議会
令和2年1月31日



令和2年の始まり
湯遊ランドはなわ餅つき

12月定例会

百条委員会設置(12月臨時会) … P 4～5
町政を問う(一般質問) …… P 9～18
委員会・追跡レポート(議会活動) …… P 20～21



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会ツイッター
QR

令和元年 議会報告会

活発な
意見交換

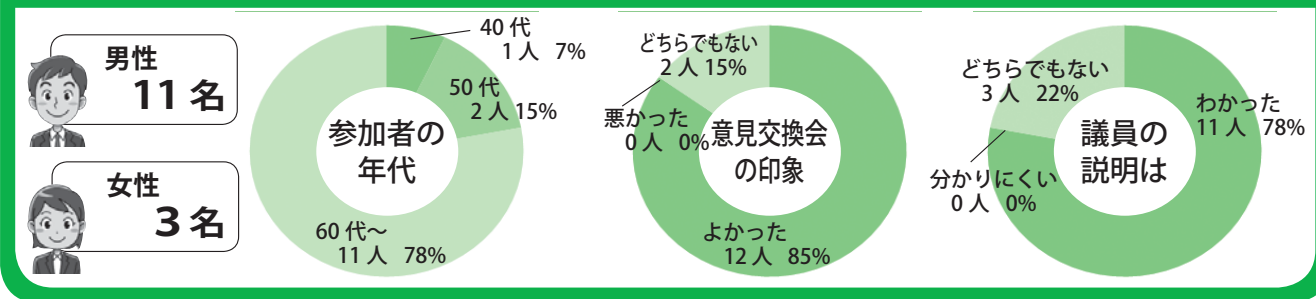
まちづくりに向かって

- ・開催日 令和元年11月22日(金)
- ・時間 午後6時30分から午後8時
- ・場所 埴町防災センター3階会議室
- ・内容 令和元年議会活動報告及び意見交換会



活発な意見交換のようす

アンケート集約データ



参加された方からの意見	議会からの返答
幸せ実感のまちづくりとは健康増進だと思うが、健康センターを作って欲しい。	健康センターは町に必要なものであり働きかけをしたい。
旧常豊小学校の利活用はどうなっているのか。	ダリアの輸出会社が利用する話や、県に誘致を求めている林業アカデミーなどがある。
台風19号に対する議員活動はどうだったのか。	10月17日に町内の現地調査を実施し、その際担当課より被害件数等の報告もあった。町は今回の災害に素早く対応できた。
町の林業施策をどう考えているか。	ふくしま森林再生事業の継続を要望中。林業アカデミーの要望活動として令和2年1月に県へ陳情する予定。
男性の保健推進委員の積極的参加を推進しては。	町も男性の参加要請や推進委員、地域サロンを増やして対応している。
埴工業高校存続に向けてどのくらい陳情したのか。	町や東白川町村会、議長会などで計3回実施。今後議会としても行う。
道の駅はなわのトイレを改修すべき。	県が改修工事を予定している。
<こんな意見もありました>	
・インスタグラムを活用して観光に力を入れてはどうか。	
・道の駅はなわに電気自動車専用の充電施設導入を検討してはどうか。	
・林業アカデミー誘致後に、ワークショップやインターンシップを行ってはどうか。	

~令和2年の町政発展と議会活性化へ~

謹賀新年
今年にかける二文字
(議席順)



議 長 大繩 武夫
忍 耐
難局を我慢強く

副議長 鈴木 孝則
不 屈
不撓不屈の精神で

12 番議員 藤田 一男
信・複
失われた議会の信用を取り戻す

11 番議員 小林 達信
感 謝
議員活動は町民の支えによって

10 番議員 割貝 寿一
責 務
議員としての務めを果たす

9 番議員 小峰 由久
行 動
今動かないでどうする

8 番議員 鈴木 安次
創 造
新たな埴町の創造

7 番議員 鈴木 茂
努 力
努力に勝る宝物はない

6 番議員 吉田 克則
地 域
振興や活性化の根本

5 番議員 高縁 光
希 望
成功に導く基がある

4 番議員 青砥 與藏
変 革
イノベーションのジレンマ

3 番議員 吉田 広明
一 心
多くの人々が心ひとつに

2 番議員 下重 義人
未 来
皆の町づくりのために

1 番議員 七宮 広樹
情 熱
埴町に対する思いと行動

埴町議会初の百条委員会設置 賛成7・反対6で可決

12月
臨時会の
あらまし

令和元年12月2日に第7回臨時会（会期1日間）が午前10時より開会され、議員発議1件（事務調査決議）と町長提出議案3件（全て専決処分）の審議を行いました。



平成29年完成直後の定住促進住宅

これまでの経過と提案趣旨

台宿北原地内の定住促進住宅新築に関する入札事務については、平成29年7月臨時会で百条委員会を設置する今回と同様の議案を審議し、賛成少数（賛成6、反対7）で否決となりましたが、令和元年10月中旬に本件に関する埴町職員の官製談合防止法違反の疑いで書類送検された報道を受け、鈴木安次議員及び賛同議員連名で事務調査に関する決議案（発議第3号）が11月11日付けで埴町議会議長宛に提出されました。令和元年12月臨時会での審議冒頭、議案

百条委員会
地方自治法第100条に定められた議会の調査権を委任された委員会。
地方公共団体の事務の妥当性が疑われる場合、その経緯や事務執行について調査する。この調査では、選挙人その他の関係人の出頭や証言、記録の提出を求めるなど、議会が非常に強い権限を発動します。

提出者である鈴木安次議員が、「議会に課せられた町政監視を行い、入札時の出来事を解明することは議会の責務で町民への説明責任を果たす」と趣旨説明をしました。

質疑

Q すでに捜査されている案件を、なぜ特別委員会で調査するのか。

A 書類送検の事実是非常に重たい。町民がまだ納得しておらず、元職員から話を聞くことは一般質問では行えない。

Q 本件は一般質問で何度も行い、町長自身や受注業者も処分を受け、終わった事件。議会として別の案件に力を注ぐべきでは。

A 提案している議員はまだ終わっていないとの認識。捜査内容は町民のみならず議会に對しても説明されないもので、議会に課せられた使命の中で調査すべき。

Q 特別委員会設置後の証人喚問について、元職員や民間企業の方を対象にするのか。

A そのようになると思う。実施については法律に則って行いたい。

採決結果

発議第3号 事務調査に関する決議案 (百条委員会設置)	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
原案可決(賛成7:反対6)	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対 ※なお議長（大縄武夫）は採決に加わらない



議場内での採決時の様子

賛成

吉田 克則議員
官製談合疑惑は町の入札制度を脅かす重大な事件。百条委員会の設置は当然で、議会で事件の究明と説明責任がある。

賛成

割貝 寿一議員
町長が書類送検された事は衝撃的で重大事件。チェック機能を持つ議会が究明にあたることは必然で、町民より付託された議員として説明責任を果たすべき。

賛成

高縁 光議員
前回は工事終了間際で委員会設置は混乱を招くとして反対したが、今回書類送検とマスコミ報道があり、議会が町民への説明責任を果たさなければいけない。

反対

吉田 広明議員
百条委員会設置により何を明らかにすべきか、また関係者の守秘義務違反の有無も議論されず、一度議会として設置を否決し関係者への処分後になぜ再度調査するのか疑問。

反対

下重 義人議員
現在司法における捜査途中で百条委員会設置には反対。それよりも台風被災者への復興を優先させるべき。

設置された委員会の概要

- ・委員会名称
定住促進住宅新築工事事務調査特別委員会
 - ・構成
割貝寿一委員長、小峰由久副委員長、その他議長を除く全議員（計13名）
 - ・委員会の調査期限
調査を終了するか、令和2年3月30日までのいずれか早い日。
- この発議の他に、町長提出3件専決予算（令和元年台風19号の被害へ早急に対応する目的）一般会計及び特別会計合計1億9334万円を全会一致で承認しました。

台風による災害復旧へ加速

補正予算を全会一致で可決

一般会計補正予算審議

【主な内容】

- ・土木施設災害復旧費 1億9331万円
- ・町内の河川11カ所と道路6カ所の復旧費用で、3分の2が県負担となる。
- ・農地等災害復旧費 4302万円

町内の農地7地区9カ所分の復旧費用で、約8割が県負担。今後復旧申請は町内19地区30カ所を予定しており、概算で農地等災害復旧費は約2億8000万円。

12月
のし
会
例
定
あ
ら
ま



町内被災箇所（左：川上川板庭付近、右：県道高萩塙線木野反分館前）

12月定例会は12月12日（木）から16日（月）までの会期5日間で開催しました。町長提出の条例関係17件（台風19号による被災者国保減免や町長等の職員給与改定など）、訴えの提起1件（町営住宅家賃滞納）、補正予算7件（一般会計及び特別会計）が上程され、いずれも原案どおり可決しました。また議員発議による意見書（厚生年金への議会議員加入）を採択。最終日には追加補正予算1件と人事案件の同意16件を含む計18件が追加され、こちらも原案どおり可決しました。

- Q** 一般寄附金の件数や使用目的は。
- A** 令和元年10月末時点で6件。使用の制限は特にない。
- Q** パイプハウスの料金の減額理由は。
- A** 町所有のうち、台宿地内の5棟は利用者無しだったため減額。カメラ付きLED防犯灯に記録されたデータの管理は。
- A** データ記憶装置は3年が限界で、その都度改修を予定しているが、定期的なデータの回収と保管は今後検討する。
- Q** 乳幼児子育て用品補助を124万円減額する理由は。
- A** 当初予算では申請者を120名と見込んだが、実際は約80名程度であったため。
- Q** 聖火リレー実施協議会の内容や負担金の使い方は。
- A** 3月28日に白河市で聖火リレーを行うために組織された。負担金はイベント出演者や各種アトラクション、消耗品等の購入に充てられる。

（全員賛成で可決）

議員発議による意見書採択

住民の代表機関である地方議会が果たす役割は非常に大きい。昨今の人材不足が懸念される中で、地方議会議員が厚生年金へ加入できれば、新たな人材確保や住民の幅広い政治参加が可能となることから、関連法整備を要望する意見書。提出者は



は割員寿一議員で、その他賛同議員が4名。採択後の意見書提出先は衆参両議院議長や内閣総理大臣など。（全員賛成で可決）

台風被災者に対する国保税減免条例制定

令和元年台風19号により被害を受けた国民健康保険被保険者の負担軽減のための条例制定。（全員賛成で可決）



制度概要	
対象者	令和元年台風19号により、居住する住宅に被害を受けた被保険者（埴町では床上浸水となった方が対象）
減免割合	税額を半分とする （期間：令和元年10月12日～翌年3月31日までの納期分）
申請期限	令和2年3月31日まで ※町より対象者へ順次郵送予定

議案の審議結果一覧表

議案番号	議案内容	審議結果
議案第64号	埴町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	原案可決
	関連法改正により、印鑑登録ができない者のうち、「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」と改正。	
議案第65号	埴町下水道条例の一部改正	原案可決
	関連法改正により、条文の「成年被後見人」を削除し、責任技術者の登録資格に関する条項の追加。	
議案第66号	埴町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定	原案可決
	関係法改正により、フルタイム会計年度任用職員の給与や諸手当の支給に関する基本的な事項を定める。	
議案第67号	埴町森林環境譲与税基金条例制定	原案可決
	上位法施行により、森林環境譲与税を積み立てる基金を創設する必要事項を定める。	
議案第68号	令和元年台風19号による被災者に対する国保税減免条例制定	原案可決
	令和元年台風19号により被害を受けた被災者の税負担軽減を目的とし、減免申請方法や割合等を定める。	
議案第69号	埴町表彰条例の一部改正	原案可決
	関係法改正により、特別功労者の待遇に係る「成年被後見人又は被保佐人」の文言の削除。	
議案第70号	埴町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正	原案可決
	上位法に定める機関に、埴町情報公開・個人情報保護審査会を位置づけ、事務分掌等を明確にするための改正。	
議案第71号	埴町職員定数条例の一部改正	原案可決
	関係法改正により、会計年度任用職員制度運用のための一部改正。	
議案第72号	埴町一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部改正	原案可決
	令和元年福島県人事委員会勧告に準ずる給与改定を行うための改正。	
議案第73号	職員の分限に関する条例の一部改正	原案可決
	関係法改正により、会計年度任用職員の休職期間を一部改正。	
議案第74号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	原案可決
	関係法改正により、「非常勤職員」を「会計年度任用職員」と改正。	
議案第75号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
	関係法改正により、会計年度任用職員の育児休業中期末手当の算定と、復職時の号給調整除外規定を定める。	
議案第76号	議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決
	埴町議会議員に支給する期末手当算定率を0.05月増額する改正。	
議案第77号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決
	町長等の特別職に支給する期末手当算定率を0.05月増額する改正。	
議案第78号	職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
	令和元年福島県人事委員会勧告に準ずる給与改定を行うための改正。	
議案第79号	職員等の旅費に関する条例の一部改正	原案可決
	関係法改正により、会計年度任用職員と成年被後見人に関する条項の改正。	
議案第80号	埴町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
	令和元年実施の幼児教育・保育無償化制度により、条例内容の一部改正。	
議案第81号	訴えの提起について	原案可決
	町営住宅入居者家賃滞納による、住宅の明け渡し請求。	
議案第82号	令和元年度埴町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
	7,473万円増額補正し、予算額64億9,325万円とする。主な内容は、台風被害による土木工事通常事業分の交付金減額による。	
議案第83号	令和元年度埴町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
	161万円増額補正し、予算額10億2,525万円とする。主な内容は、一般被保険者療養費の増による。	
議案第84号	令和元年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
	1万円増額補正し、予算額1億3,300万円とする。主な内容は、職員人件費（諸手当）の増による。	
議案第85号	令和元年度埴町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
	706万円増額補正し、予算額2億4,161万円とする。主な内容は、台風19号被災箇所修繕費の増による。	
議案第86号	令和元年度埴町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
	120万円増額補正し、予算額10億9,321万円とする。主な内容は、介護給付費準備基金積立金の増による。	
議案第87号	令和元年度埴町上水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
	収益的収入を109万円増額、支出を435万円減額し、資本的収入を481万円増額、支出を500万円減額する補正予算。	
議案第88号	令和元年度埴町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
	2億3,633万円増額補正し、予算額67億2,958万円とする。主な内容は、台風19号への災害復旧費の増による。	
同意第5号	教育委員会委員の任命について	同意
	教育委員会委員任期満了による任命で星春美氏を再任。令和元年12月22日から4年間の任期。	
同意第6号	埴町農業委員会委員に占める認定農業者又は認定農業者等に準ずる者の割合を1/4以上にすることについて	同意
	農業委員候補者の選定にあたり、認定農業者等が委員の1/4を占める場合について議会同意が必要となったため。	
同意第7～21号	農業委員会委員の任命について	同意
	農業委員候補者の15名に対する議会同意。任期は令和2年2月18日から3年。	

人事案件

教育委員会委員
星 春美氏(大町)

全会一致で同意(再任)



任期は令和元年12月22日から4年間

農業委員会委員 全会一致で同意

小林 達信氏(桜木町)
鈴木 孝久氏(大蔵)
金澤 勉氏(台宿)
石井 久雄氏(真名畑)
小松 孝行氏(西河内)

生方 光明氏(常世北野)
小峰 保広氏(那倉)
青砥 繁蔵氏(伊香)
天沼 芳美氏(東河内)
金澤 勉氏(中塚)

下重 繁男氏(竹之内)
鈴木 則隆氏(木野反)
鈴木 仁氏(伊香)
鈴木 良一氏(片貝)
白坂 利雄氏(上渋井)

※任期は令和2年2月18日から3年間

一般質問 町政を問う



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取りと録画映像をご覧いただけます。

一般質問とは

議員が町長などに対し、行政全般の事務執行状況や方針について確認するもので、掲載記事は一般質問登壇議員自ら作成しています。

議員名	質問事項	ページ
こみね 小峰 由久	・ 埴工業高校存続問題	P 9
しもじゅう 下重 義人	・ 台風19号被災支援 ・ はなわこども園関連	P10
あおと 青砥 與藏	・ 台風19号への被害補償と今後の対策	P11
すずき 鈴木 茂	・ イノシシ路肩被害 ・ 旧焼酎工場再利用 ・ 湯遊ランドはなわ新施設PR ・ 高齢者見守りIT化	P12
すずき 鈴木 安次	・ 町長の公務状況 ・ 町長の書類送検に対する所感 ・ ふくしま駅伝への町長の携わり方	P13
よしだ 吉田 広明	・ 給食費無償化 ・ 学校給食地産地消 ・ 老朽化した町営住宅の今後 ・ 町道の改良工事	P14
よしだ 吉田 克則	・ 災害等危機管理体制 ・ はなわこども園開園関連 ・ 旧常豊小学校廃校利用 ・ 森林再生事業の状況	P15
こうえん 高縁 ひかる	・ 台風19号被災者支援 ・ 県道の交通待避所 ・ 木野反地区水道問題 ・ 定住促進住宅報道問題	P16
わりがい 割貝 寿一	・ 定住促進住宅入札関連 ・ 来年度給食費無償化	P17
ななみや 七宮 ひろき	・ 八溝山の良質水活用 ・ その他の質問 ・ 台風19号被災と今後の対応	P18

質問

埴工高存続のため
県へ対案を示すべきでは

答弁

できる事からやっていき、
次年度奨学金制度を実施したい

【質問】 県の統合方針に
対する、町の対処につ
いて伺う。

【答弁】 統合するとなれ
ば、人口減少に拍車が
かかり、地域の衰退を
大いに懸念するので絶
対反対。これからも学
校存続への要望活動を
続けていく。

【質問】 少子化が進むか
ら学校を減らすという
県教育庁の考えは単純
な少子化対策で、県知
事部局へ過疎対策とし
ての学校存続の意義を
訴えてはどうか。

【答弁】 あらゆる手段を
講じて存続につなげて
いきたい。知事とお会
いする度に話をしてい
きたいと思う。

【質問】 県教育庁の統廃
合計画に対し、町は対
案を用意すべきでは。
1つ目の提案として学
生寮の設置により首都
圏から工業課程を学び
たい学生の誘致計画は
どうか。学生寮候補と
して胡桃下団地の4階
部分の活用を進言す
る。同団地は特に高層
階で空室が目立ち、小
規模なリフォームをす
れば活用が十分可能
で、運営方法は県内の
先進事例を参考にでき
るのではないか。

【質問】 もう1件の提案
は町立高校として存続
させるのはどうか。国
内に無い話ではなく、
教職員は国県の所属
で、給与や異動も保障
される。運営経費は、
校名を民間募集して資
金調達する方法なども
検討してはどうか。

【質問】 県の統廃合計画
の中にも、弾力的運用
で存続させる中山間地
域の小規模校もあるこ
とから、埴工高も存続
できる可能性もある。
あきらめる事なく存続
運動を進めて欲しい。
【答弁】 埴工高を存続さ
せる思いを、町、議会、
町民、東白川地方に関
連する企業と共に県へ
ぶつけていく。次年度
奨学金制度を実現し、
できる事からやってい
く姿勢である。



こみね よしひさ
小峰 由久議員

ワンチームになって
埴工高存続を



県立埴工業高等学校



しもじゅう よしと 議員 下重 義人

楽は苦の種 苦は楽の種

激甚災害の支援策とは

質問

復旧事業への国庫補助かさ上げ

答弁

質問 復旧事業に対する、国庫補助率を引き上げる激甚災害の支援策とは。

答弁 地方財政の負担を緩和することができ、災害復旧事業への国庫補助かさ上げが構じられる。

質問 浸水被害に見舞われた代官町付近の今後の対策と、大型ポンプ等の設置はできないのか。

答弁 雨水対策について調査及び検討をし、現在県が久慈川の計画流量見直し作業を進めている。また大型ポンプ設置は莫大な費用となることから困難である。



被災した町道清水和久見明線

一般質問

質問 町で指定した避難所の安全性は保たれているのか。

答弁 地区集会所や地区分館の駐車場、農村公園、各学校のグラウンドであるため安全だと考える。

質問 IP告知端末機で災害状況をなぜ全戸発信できなかったのか。

答弁 災害情報の混乱を避けるため発信しなかった。今後この教訓を参考に考えていきたい。

質問 平成30年6月定例会で質問したが、その後増厚生病院と避難所等の話し合いを持たれたのか。

答弁 病院は基本的に疾病者を受け入れる施設で、感染症のリスクもあり避難者受け入れは考えていない。

質問 甚大な災害を受けた教訓から、新たな防災マップを作成する考えはあるのか。

答弁 今後より多い雨量を想定し、それにあったハザードマップ作成を県の調査及び公表に合わせて、令和3年度に作成する予定。

質問 最も災害に弱い高齢者の方々だけに、防災バック(非常用持出袋)を配布できないか。

答弁 高齢者の方々であれば考える余地があるので今後検討したい。

はなわこども園の利用料内訳は年収及び第3子以降によっても異なる

質問 国の施策により、令和元年10月1日から幼稚園、保育園の利用料が無償化とあるが、なされていないのはなぜか。

答弁 幼稚園の授業料は無償化されたが、年収及び第3子以降によつては副食費(おかず)の費用免除される場合もある(保育園に関して答弁なし)。

質問 同じ幼稚園でも送迎バスを利用できない理由は、年齢に制限があるのか。

答弁 3歳児は保護者の送迎で、4から5歳児はバスまたは保護者の送迎で通園している。

質問

台風19号による被害と補償は

答弁

住宅浸水被害が発生し町や県から

質問 台風19号の床上・床下浸水被害戸数と個人的被害は最大どの程度の金額になるのか。

答弁 床上浸水73世帯、床下浸水は48世帯。個人の最大被害額は200万円になると推測する。

質問 植田字又六地区の床上被害は、町が行った分譲条件(土地のかさ上げ不許可)があり、意識の高揚のためにも町の土地かさ上げ補助金が必要ではないか。

答弁 当時の判断と気象条件が変わった今は答えに窮する。国の補助金など検討していきたい。

質問 一般河川に注ぐビル川水路の氾濫対策(代官町・柳町)に構造上問題があると思う。国立研究開発法人「土木研究所」や国土技術政策総合研究所「河川研究室」に構造や設計を依頼し、町のマネジメントをしてもらうてはどうか。

答弁 以前からスムーズな流れを作る角度を考えていた。ぜひコンタクトを取り、排水溝についても依頼したい。

質問 上洪井から注ぐ水路の管理者は誰か。消防団に管理を依頼することは可能か。

答弁 水門の管理者は2カ所とも埴町消防団第一分団にお願いしている。水路については消防団と協議したい。

質問 河川内の流木撤去や堆積物除去の対策は。

答弁 桜木橋については町が行った。町が設置している河川内構造物は町、その他の流木や土砂などは県が行う。実施について現在各機関と協議中である。

質問 住宅や水田被害に対する補償金はどうするのか。

答弁 床上浸水住宅には、年明け早々に町から半壊で3万円、県から10万円補償される。水田被害補償については農業共済がある。町は次年度土壌改良の資材費等で実施を予定している。



あおと ようぞう 議員 青砥 與藏

変革 イノベーションのジレンマ



川上川と久慈川の合流付近



鈴木 茂 議員

イノシシが道の駅に突入した今後の対策が重要だ

イノシシによる町道路肩被害に防草シートを

ぜひ試したい

質問 答弁

質問 イノシシの被害をどのように受け止めているか。

答弁 しつかりとした対策をとる必要がある。

質問 イノシシの被害は道路の路肩に及んでおり崩落する危険がある。対策に防草シートを実証的に使ってみてはどうか。

答弁 ぜひ試したい。

板庭の旧焼酎工場再利用は努力していきたい

一般質問

質問 工場はいつ購入して、今までの維持費用はいくらか。
答弁 平成22年に購入し、9年間の維持費は560万円。
質問 施設中にあるタンクの数と年間維持費は。
答弁 各種53タンクで、維持費は66万円。



施設内のタンク

質問 施設解体費はどれくらいか。
答弁 備品など全て解体すると8000万程度かかる。

質問 焼酎会社に誘致をかけた時はあるか。
答弁 ウィスキーやワイン会社から問い合わせがある。焼酎については努力したい。

湯遊ランドの新施設PRはいろいろな方法で町内外にPRしたい

質問 湯遊ランドに新しく整備された高圧酸素カプセル、岩盤浴、ラドンルーム等のPRはどう行うのか。

答弁 酸素カプセルは疲労回復にとても良い。岩盤浴は免疫力、自己治癒力が高まるラドンルームは細胞が活性化するとされている。ランドのHPや報道機関、SNSなどを活用して町内外に広くPRしたい。また専門家の大学教授に効果などの講演会をしていただく。

お年寄りの見守りIT化を問う効果やメリットについて考えていきたい

質問 見守り隊の現状は。
答弁 一人暮らし65歳以上320名中、150名を訪問している。隊員は講演会や研修会を受講している。
質問 今後スマホを使った見守りやAIロボットの導入などを検討すべきでは。
答弁 効果やメリットについて考えてみたい。

県南防災訓練に町長は欠席と聞いたが

敬老会に招待されていた

質問 台風19号への避難所と避難者の世話は。
答弁 19か所488人。職員が対応し水や乾パン、非常用ご飯を用意した。

質問 10月12日代官町地内には何で行ったのか。
答弁 教育長と徒歩で行った。

質問 10月14日町長はどこにいたのか。
答弁 湯岐地区の運動会と祝賀会に招待されていた。

質問 直ちに役場に戻り陣頭指揮を執るべきでは。
答弁 13日に現地を見たので、それでよいと思っただけから検証する。

談合防止法違反容疑で書類送検されたが財務規則により契約権者の権限で行った

質問 書類送検されたが町長の思いは。
答弁 告発で埴町が不名誉になってしまったことをお詫びする。
質問 臨時議会が開かれる前に総務課は福島市内で忘年会を行ったが緊張感を欠いているのではないか。
答弁 私は関与しない。各課の判断である。

質問 関係機関に自宅捜査が入ったが町長の感想は。
答弁 埴町にとって不名誉な事であり辛いものがある。
質問 議会全員協議会に教育長が出席したが誰の指示か。
答弁 町長からの指示で三役として同席した。

質問 議会全員協議会に同席することで子供たちへの影響は考えなかったのか。
答弁 子供たちや保護者に責任を感じることはない。



鈴木 安次 議員

経験のない水害に町の対応は適切だったのか

ふくしま駅伝当日町長はどこにいたのか台宿敬老行事に招待されていた

質問 敬老行事を終えたの感想は。
答弁 招待された行政区は全て出席した。参加しやすく楽しかったとお褒めの言葉も頂いている。
質問 台宿区敬老行事の日、ふくしま駅伝の応援はなぜ行かなかったのか。
答弁 私の提唱した行事なので優先した。

質問 埴町を代表して走っている選手を町長が応援するのが筋ではないか。
答弁 応援は誰でもできるが敬老行事はその時だけなので優先した。



ふくしま駅伝の様子



よしだ ひろあき 議員 吉田 広明

やるべきことは 明白である

歳の離れた兄弟の食材費は 年齢制限も無くし無料にすべき

質問

答弁

【質問】 第3子からの食材費（副食費）が免除されているが、最長児童の年齢が、「小学校3年生までの最長の子供を、第1子と数えた場合の第3子」の年齢制限など、歳が離れた兄弟や姉妹の年齢制限をなくす事は可能なのか。

【答弁】 近隣町村の動向を注視しながら、公平性や財源の確保を含め検討を加えていきたい。

老朽化した町営住宅の今後は 長寿命化計画で検討し 住み替えを進める

【質問】 町営住宅は老朽化が目立つが、今後どのような町営住宅構想を持っているのか。若宮住宅は築47年が経過し、借地で計画空き家等の対象となっている。安い土地を購入する選択もあったかと思う。また、入居者の少ない団地などで起こる高齢者の孤独死や不法侵入など、防犯上の事故や事件を未然に防ぐためにも、積極的に進めるべきでは。

【答弁】 昨年度1棟の1世帯は移ってもらい、現在24戸中17世帯は一人暮らしで、その内7割の世帯が75歳以上の高齢者一人暮らしを考えると、長寿命化計画などを含め、来年度までに検討したい。町内に必要な戸数は168戸で、老朽化により新たな町営住宅も必要である。

地産地消の取り組み状況は 来年1月に道の駅はなわから納品が可能になる

【質問】 鮫川村の学校給食施設へ視察に行った報告と、道の駅はなわを中核とする、町内にお金が回る仕組みを進めるべきでは。

【答弁】 鮫川村学校給食センターに視察に行ってきた。重点は地元野菜を食べる旬菜旬食としており、手まめ館から野菜や加工品を納品している。来年1月から道の駅はなわに依頼して、納品が可能になった。

町道西河内塩沢線の 改良工事は 県との事業調整会議で 要請をしている

【質問】 都市計画の中で、国道118号から工業団地までの路線改良や、町道西河内塩沢線も延長改良し、国道289号や県道塩沢線へ接続する計画があるのか。

【答弁】 北野松岡線から西河内塩沢線の改良を加えていきたい。県と事業調整の会議中で、県道昇格を要請している。



国道289号と西河内塩沢線の交差点

質問

災害等危機管理体制は

答弁

防災センターに本部設置

【質問】 災害対策本部の体制と危機管理マニュアルは作成してあるのか。

【答弁】 本部長に町長、副本部長に副町長と教育長。災害対策本部員は各課長、消防団等がなっている。危機管理マニュアルは作成している。

【質問】 災害情報の収集や対応方針の決定はどのように。

【答弁】 主に消防団や区長からの提供。避難指示勧告は災害対策本部で出す。

【質問】 災害対策本部への連絡先電話番号は。

【答弁】 検証をしてみよう。代表番号である43121111を基本にお知らせしていく。



よしだ かつのり 議員 吉田 克則

水田や森林は 水を蓄える機能を有し大切！

旧常豊小学校廃校利用は 拠点施設として活性化

【質問】 旧常豊小学校の廃校利用が進んでいないが、町の動きと活用への考えは。

【答弁】 町学校施設等利用検討委員会において活用方法を検討した。委員会からの結果報告と地域の方からの要望で、グラウンドと体育館を地区の体育施設に転換して利用している。校舎について

は「未来につながるような廃校プロジェクト」に登録し、情報を全国に発信して活用の取り組みをしてきた。先端にあるのが農業生産法人の拠点施設として活用し活性化や地域振興を考えている。

森林再生事業状況 事業継続を示す



森林と水田

【質問】 森林再生事業実施状況と今後の林業施策方針は。

【答弁】 面的には444ヘクタールの事業を行なった。令和2年度130ヘクタールを計画している。国や県へ事業継続を強く要望し働きかけをしてきた。国でも令和3年度以降継続する考えを示した。町として森林再生事業に取り組む。

一般質問

一般質問



こうえん ひかる 議員 高縁 光

二酸化炭素によって世界的な温暖化問題になっている

豪雨による被害対策は

被災全戸ではない

質問

答弁

【質問】台風19号による豪雨災害は町内各地に大きな被害を残したが、県からの支援金に対する町からのさらなる強化策はあるのか。

【答弁】浸水全てに30万円支給されるのではなく、被害割合によって上限30万円となる。県の特別支援金は町が見舞金要綱を策定しなければならぬ。13万円支給されるが被災全戸とはならない。

【質問】豪雨により稲わらが流されて堆積している所があり、今後の除去対策は。

【答弁】除去運搬費用は補助金1㎡単価5000円になっており、埴町では1地区該当した。

木野反地区の水道問題は湯岐水道管理者と合意があれば接続できる

【質問】木野反地区の水道問題について町はどのように考えているのか。

【答弁】昭和58年に町が設置し管理は地元が行っている、設備は36年経過し経年劣化が問題となっているのも承知している。

【質問】湯岐の簡易水道と接続してどうか。

【答弁】両地区の合意があれば接続可能と認識している。



湯岐水道施設タンク

県道高萩埴線の交通待避所は

地元で話がまとまれば町で進める

【質問】県道高萩埴線の湯岐地内通行止めによる木野反地内の待避所は。

【答弁】片側通行止めを検討しながら、地元区長や地区民の方々と具体的に話をしてもらえば町として進めたい。

定住促進住宅報道問題は

町職員は守秘義務があり守れている

【質問】定住促進住宅の問題に対して、県警が告発を受けて捜査し宮田町長を地検に書類送検した報道の中で、10月10日付けの福島民友の記事で入札選考に関する書類が掲載されたが、これは町の正式書類なのか。

【答弁】新聞を見る限り正式書類と推察する。

【質問】なぜ正式書類が報道機関に渡ったのか。

【答弁】この問題の書類につき、個人から2件情報開示請求があり、開示した中で報道機関に提供されたのかはわからない。

質問

資格がない業者との契約は無効では

答弁

名簿登載業者との契約は有効

【質問】工事等請負業者内申書と通知書の作成過程について伺う。

【答弁】担当課より内申書があり、委員会では協議をし担当課へ結果を送付。それを受けて起工する流れ。

【質問】開示された書類に手書きで加筆された業者があるが、何の権限により町長は加筆できたのか。

【答弁】町長は埴町財務規則上の契約権者であり、指名競争入札実施要綱で契約権者が指名業者を決定するとあるため。

【質問】業者格付け下位ランクを職権により入札参加させていいのか。

【答弁】ランクは町の内規により振り分けられており、最終的な業者指名は契約権者が行う。

【質問】資格が無い業者との契約は無効と規則にあるが問題ないのか。また県から指導等あったのか。

【答弁】特に県からの指示はなかったが、来町し書類確認や写しを持って行った。資格については、経営事項審査を受けていなくても指名業者名簿に登録され、ランク下位業者の受注は、要綱上工事受注能力があり、指名名簿に登録されていれば契約可能。建設業法は受注者側への規制で、審査を受けていなかった業者の責任で町には責任がない。

来年度の給食費無償化は実施するのか 要望多数でぜひ実施したい

【質問】来年度の給食費無償化は、町長の選挙公約であるが、1食200円の給食費が払えないから無償化にして欲しいという要望が保護者からあるのか。

【答弁】アンケートを実施したところ、ぜひ実施してほしいとの要望が多数あった。

【質問】現在全国の自治体約2割程度が何らかの補助をしているが、埴町において実施するだけの財源に余裕があるのか。

【答弁】地方消費税交付金による財源確保も検討され、歳出の見直しにより現在の財政状況から実施可能とみている。

【質問】1食200円程度を今の子育て世代は負担できるはず。無償化にかかる4,400万円があれば様々な事業が実施可能で、公平な税の使い方なのか疑問である。本当にやる意思はあるのか。

【答弁】食育、地産地消という観点や税金面を含めた教育等を行い、ぜひ町として給食費無償化を実施したい。



としかず 議員 割貝 寿一

町民が納得する行政運営を望む



町の入札箱

一般質問

一般質問

ひとことインタビュー

令和元年12月定例会の傍聴者数はのべ46人でした。傍聴された方の中からインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



かなざわ けいいち
金澤 圭一さん
(上町)

同一質問は議員間で調整すべきでは

―傍聴したきっかけは
行政区長研修の一環として参加しました。

―傍聴された感想はどうでしたか
以前1度議会を傍聴した時は、傍聴者数はそんなに多くなかったですが、今回は区長の研修会でしたのでほぼ満席状態でした。午後から短時間の傍聴でしたが、一般質問する議員の皆さんもよく勉強されており、自らの研鑽の場でもあるでしょうから、傍聴して大変勉強になりました。

―議会に対する意見、要望はありますか
今回の一般質問通告一覧を見ると、台風19号関連の質問が質問された10議員中8議員も通告しています。全員の質問を傍聴したわけではなく、議員個々の視点も違うでしょうし、喫緊の課題でもありますが、事前調整はできないものなのかと単純に思われました。

―町に対する意見、要望はありますか
要望1点目は敬老会の主催が各行政区となり、区長の負担が増すばかりで、開催方法を例えば旧小学校単位などもう少し枠を広げて実施していただきたい。2点目は全国的にイノシシによる被害多発しており、大字塙地区でも出没が確認されています。25年前と比較約3倍の個体数となっており、農作物の被害はもとより人的被害が発生しない前に抜本的解決策を策定していただきたいです。

質問 八溝山の良質水と、真名畑トンネル内の埋設済みパイプ利用は

回答 将来の安定供給が必要となれば、施設利用を考える



ななみや ひろき
七宮 広樹議員



【質問】現在の塙町の水量確保は十分とは言えず、町民の命を守る水源確保は必要であり、町の大きな使命として将来の塙町の繁栄を見据えインフラ整備を進めるべきでは。

【回答】飲み水の確保は大事であり、検証しながら水源確保を考えていく。

【質問】真名畑トンネル施工時に歩道下へパイプが埋設され、将来八溝山からの良質な水を町民に提供するために布石を投じたが、新たな水源確保に八溝山の水利用と、真名畑トンネル内に埋設されているパイプ利用の調査の考えは。



真名畑トンネル

【回答】将来、水の安定供給を図る事になれば、トンネル内に確保されている施設利用も必要になると考えている。

【質問】今後、同様の自然災害が増えていくと思うが、検証と今後の対応や対策をどのように進め、安心安全に暮らせる災害に強い町づくりを進めるのか。

【回答】被害防止策を今後十分検討し、今年度中に強靱化計画の策定を目指す。

【質問】大水が出るたびに被害が大きい本町や代官町の地域住民からの要望に、どのような対策を講じていくのか。

【回答】どのような方法が現実的で効果的か検討していく。

【質問】町は災害時に町内各ボランティア団体と、連携確保の体制づくりを構築していく考えは。

【回答】連携が取ればばと思うので、担当課で検討していきたい。

【質問】消防団の必要災害備品として、各屯所に水害時に使えるボートを備えるべきでは。

【回答】ボートも必需品と思うので購入を検討したい。

【質問】災害時の人材育成に「防災士」の資格取得の考えは。

【回答】検討する時期かと思っている。

【質問】代官所跡地の広場が「災害」ミの仮置き場」として使われたが、今後進められる空き家対策をからめ都市計画の協議の中で、災害時等に活用できる多目的広場の確保の考えは。

【回答】これからの町づくりの中で必要と考える、十分に検討検証をしたい。

一般質問

台風19号の検証と今後の対応や対策は 災害に強い町づくりを推し進めて行く

その他の質問

「子供と高齢者が共に集える居場所づくりについて」・「旧常豊小学校の利用と取り組みについて」は、塙町議会のホームページからご覧いただければ幸いです。議会日より表紙のQRコードから、スマートフォンで動画が視聴可能です。

追跡レポート

あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

給食費5割補助を実施すべき 平成30年9月定例会

学校給食費は現状3割助成にとどまっております。完全無償化を目指し5割助成を次年度から実施すべきでは。

答弁

はなわこども園開園までに目指す

町の未来を担う子供達の体を作る給食は食育の観点からも大事だ。はなわこども園開園までに3歳児まで拡充できるよう目指したい。

その後

令和元年振興計画に計上へ

令和2年度から給食費無償化（全額補助）を町の振興計画に載せた。



イノシシ駆除要請 平成29年

農作物被害の拡大防止対策、農業従事者の高齢化に対応した対策を町に求めた。

答弁

囲い罠（メッシュ網）資材無料配布

ワイヤーメッシュによるイノシシ侵入対策。地域ごとに1,000mの資材を無料配布し、作業は地域の無料ボランティア活動。

その後

箱罠の貸出を始める 令和元年

個体数を減らすことが急務となり、箱罠の管理は地域で行う。年間を通じて箱罠やククリ罠による駆除要請。



閉会中所管事務調査レポート

総務常任委員会報告

行財政改革と公共施設管理状況

- 日時 令和元年10月24日（木）
- 場所 委員会室
- 出席委員 鈴木安次委員長ほか委員全員（計：7名）

調査まとめ

(1) 行財政改革進捗状況

担当課より令和2年3月までの大綱策定スケジュール説明があり、パブリックコメントの募集や改革本部会議を実施予定との事。行財政改革大綱策定は、度重なる遅延で現在に至り、緊張感ある行政運営と現状を踏まえた内容ある大綱策定を望む。

(2) 公共施設の管理状況

公共施設等総合管理計画は平成31年3月に改定され、今後の人口減少や施設老朽化、財政状況等を踏まえた中長期的な計画となっている。これら施設の更新時期を迎えるものについて、整理統合も考えて多角

的に検討してもらいたい。

(3) 総括及び意見

厳しい財政状況や少子高齢化は全国的な課題であり、行財政改革や公共施設管理計画は行政運営の中心で計画策定が終わりではなく、定期的な見直しとスピード感をもって実行することが大切である。



町の公共施設（体育館）

経済常任委員会報告

湯遊ランドとダリア園の施設整備状況

- 日時 令和元年10月30日（水）
- 場所 現地（各施設）
- 出席委員 鈴木茂委員長ほか委員（計6名）

調査まとめ

(1) 湯遊ランドはなわ施設整備状況

今年度遠赤外線低温サウナリニューアル工事や施設の維持補修、民間から寄附された天体望遠鏡の設置等を行う計画。オープンから約20年以上経過し施設の経年劣化が心配され、調査の結果約5億円の改修費用が必要との事だが、総務省方式で試算すると約9億円と開きがある。今後の改修にあたっては、効率的かつ効果的な改修により宿泊客や日帰り温泉客の増加につながる事を期待する。現地調査では施設内に新設された高圧酸素カプセルやラドン室設置予定場所等を確認した。

(2) ダリア園施設整備状況

今年のダリアは花の生育が悪く、台風による悪天候で入園者が激減したとの事。次年度に向けての土づくりや新しい球根の導入、栽培指導者を町から一名担当させるなど、栽培技術や品質管理等を徹底して行う旨の説明があった。委員から、園内の枕木による円形レイアウトが、ダリアの生育環境上不適ではないかとの意見があった。



新施設予定箇所を見学する委員（湯遊ランド）

議会だより モニターさんの声

前回 10 月 18 日発行の議会だより 148 号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。

1. 表紙及び裏表紙について

<表紙>

- ・子供の写真好大変良い。屋外の写真であればなおよかった。
- ・写真がぼやけてしまったのが残念だが、活気ある子供達の写真好大変よかった。

<裏表紙>

- ・ランドの協力隊員の顔が分かる写真だとよかった。

2. 9月定例会（決算審議含む）関連記事について

- ・議案審議結果一覧や補正予算など、定例会の内容が簡素にまとめられて読みやすい。
- ・決算審議は質疑ごと（ジャンル別）に表示されてわかりやすい。
- ・用語解説を充実させると見やすいのでは。

3. 一般質問記事について

- ・各議員の質問が明確で熱意が感じられ読みやすい。
- ・見出しの「質問」「答弁」と付け加え、変化があり見やすい。
- ・扉のページにより、各議員の質問項目が一目でわかり見やすい。

4. 後半ページについて（臨時会、委員会レポート、議会の動き）

- ・臨時会は内容縮小で見やすく、追跡レポートは町民目線のいい企画。委員会レポートは議員の熱意が感じられる。

5. その他ご意見

- ・各ページの端にインデックス形式でページを検索しやすくしてはどうか。
- ・ページ数が少なく予算や決算内容は詳細な説明文が欲しい。別冊や増刊号にしても良い内容で今後検討してほしい。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



さいとう しゅういち
齊藤 修一
(代官町)

議会傍聴したような誌面づくり

議会だよりモニターになって、議会だよりによく目を通すようになりました。以前と比べ見やすい誌面で、一般質問のページは答弁も書かれており、用語の解説や内容もわかりやすい表現で丁寧な作り

待っています。議会だよりを傍聴したような感じも個人的に嬉しいです。議員のみなさんもたくさん課題を抱える中で、町民の要望に答えながら活発な議員活動をしたいと思っていますが、まさにその活動内容を周知する一番のツールがこの議会だよりであり、議会や行政に関心を持つ人が一人でも多くなるような誌面をこれからも期待しています。



かなざわ ひでき
金澤 秀紀
(植田)

一般質問は町の未来のために

今までモニターになる前は、議会だよりを流し読みする程度でしたが、この度ご縁をいただきモニターとなり、隅々まで読む良いきっかけと

なりました。個人的な一番の見どころは一般質問です。各議員がどのような分野で、どのような質問をし、どのような答弁があったのか。教育、農業、健康福祉など様々な問題を議員は町のため、町民のために質問されています。素敵な町になることを期待して次回議会だよりを楽しみに待っています。

議会のできごと

台風19号による 町内被災箇所を調査



那倉地区の河川被災地を視察

10月17日（木）午前10時から全員協議会を開催。台風19号による町内の被災箇所を総務課長及びまち整備課長の随行説明で調査しました。まず代官町の浸水箇所と付近の災害ゴミ仮置き場の現状を視察し、その後板庭から川上地内にかけて河川や堤防の破損、木野反地内の県道崩落現場など町内を回りました。一日でも早い被災箇所の復旧と、被災者支援に向けて町と議会が一丸となって取り組みます。

議会活動出欠状況

令和元年10月1日～令和元年12月31日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
元.10.1	茨城県高萩市議会との県道整備促進関連研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.10.3	広報常任委員会（議会だより編集）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.10.8	全員協議会（官製談合疑惑説明）	○	忌引	○	私用	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○
元.10.9	広報常任委員会（議会だより編集）	○	忌引	○	私用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.10.10	東白川地方議会議員研修会	○	忌引	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.10.17	全員協議会（町内台風被災箇所視察）	○	○	○	遅参	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○
元.10.24	総務常任委員会（所管事務調査）	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.10.30	福島県猪苗代町議会視察（議会広報関係）	私用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.10.30	経済常任委員会（所管事務調査）	私用	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.11.5-7	総務・経済常任委員会合同視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○
元.11.18	議会運営委員会（臨時会運営）	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.11.22	議会報告会・意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.2	議会運営委員会（臨時会議案）	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.2	12月臨時会（百条委員会設置）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.2	定住促進住宅新築工事事務調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.2	全員協議会（議案に係る個人情報取り扱い）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○
元.12.4	予算決算常任委員会所管事務調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.4	議会運営委員会（12月定例会運営）	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.9	全員協議会（定期監査報告など）	○	○	○	遅参	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.12	12月定例会（1日目：議案説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.12	総務常任委員会（閉会中審査内容決定）	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.12	経済常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.12	広報常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.13	12月定例会（2日目：一般質問6名）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.16	議会運営委員会（追加議案）	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.16	全員協議会（追加議案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.16	12月定例会（最終日：一般質問4名、議案審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.16	定住促進住宅新築工事事務調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.12.16	議会運営委員会（定例会検証）	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 一該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病气・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：塙柔道スポーツ少年団
 活動場所：塙町営体育館
 団 長：近藤邦男（090-8784-0804）
 会 員：10名

子供から大人まで厳しくも楽しい練習で頑張っています

塙柔道スポーツ少年団は、塙町柔道講座を前身に1997年（平成8年）に正式結成し今年で24年目を迎えました。柔道には、創設者が掲げた「精力善用・自他共栄」で、練習の目的は身体の鍛錬、精神の修養により、人格の形成を図り、社会に貢献することで、日々練習に励んでいます。活動内容は、塙町営体育館柔道場において週2回水曜日（午後7時から）、土曜日（午前9時または午後7時から）の2から3時間練習を実施しています。また各種大会や合同練習等への参加をし、他地区の選手との交流を図るとともに柔道技術の向上に努めています。現在まで、福島県大会を勝ち抜き全国小学生大会、中学生大会、イン

ターハイに出場、また今年3月に群馬県で開催予定の全国高校生柔道選手権にも出場するなど活躍しています。柔道に興味がある方や練習を見てみたいという方は、練習日にご自由に見学してみてください。



日々練習に励んでいます

編集後記

令和も2年を迎え私たちが議員の任期も2か月余りとなりました。昨年は世界的温暖化が原因なのか、塙町も台風19号により甚大な被害を受け、今後の対応を早急に考えていかなければならない時期に来ていると思います。今回の台風の教訓を活かし、自分の身は自分で守る行動が最も重要ではなかったかと感じました。今年は災害のない年であるとともに、皆様が笑顔で暮らせるよう議員一丸となって頑張りたいと思います。次号の議会だよりは、新しい広報常任委員会で発行されます。今後ともご期待ください。

下重義人

広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
七宮	吉田	青砥	高縁	下重	吉田
広樹	広明	與藏	光	義人	克則

あなたも議会を
傍聴してみませんか

次回の3月定例会は
3月2日(月)からの予定です。

場所 役場2階 議場
 (※氏名記入などの簡単な手続きで傍聴できます。)

